



令和8年度(2026年度)学校経営方針

西宮市立上甲子園小学校
校長 仁木 雄次郎

はじめに

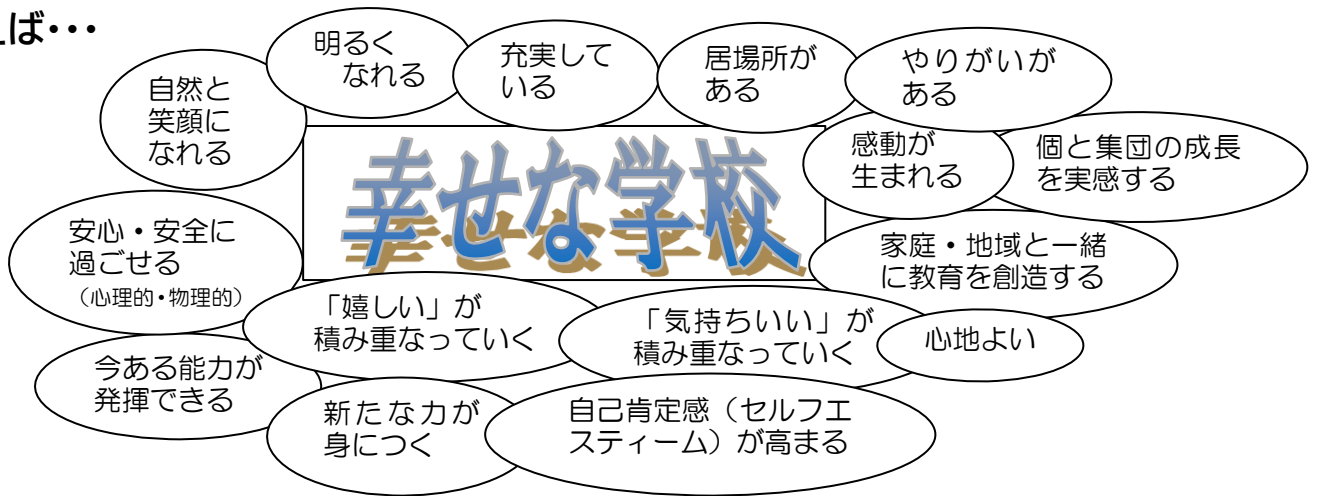
「幸せ」をめざすのではなく、結果的に、教職員が「幸せ」を感じ、子供が「幸せ」を感じられる学校に・・・

“幸せな学校”になるために…

あなたが幸せであるために、あなたに出来ることは何ですか？
みんなが幸せになるために、あなたに出来ることは何ですか？

“幸せな学校”とは…？

例えば…



私は上甲子園小学校の校長として…

常に、一人ひとりの教職員の「人」としての幸せ、「教師」・「職員」としての幸せのために、

「考えます」 「話します」 「動きます」

また、「校長」である前に、「教師」である前に、一人の「人」として、**長所(強み)**をさらに伸ばすとともに、**短所(弱み)**の自覚・改善に努め、自身の『成長』を常に求めています。

それが、一人ひとりの子供の幸せ、子供を支える身近な大人の幸せに繋がると考えています。 (合わせて… 教職員一人ひとりがそのような基本姿勢でいていただきたいです。)

I 学校教育目標

子供とともに、私たち大人も…

のびよ なかよく 心豊かに たくましく

★学校教育目標に込めた校長の思い・考え

～「西宮教育推進の方向」と照らし合わせて～

※「R6 西宮教育推進の方向」>「I 学校教育推進の目標」(P21～26)【別紙】より

なかよく(人間尊重の精神)

・自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する

※「2 「生きる力」をはぐくむ」>(1)これからの社会で求められる資質・能力

※第4期「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」>「めざすべき人間像」

(更に、私たち教職員は…)

「1 子供の育ちのためにつながる」

>(1)家庭・地域とつながる … 「子供の学びを核とした協働関係の構築」、「地域学校協働活動」

>(2)校内や校種間でつながる … 「チームとしての学校」、「学校段階等間の接続」

心豊かに

・「他人を思いやる」「生命や人権を尊重する」「自然や美しいものに感動する」心を持つ

道徳教育や人権教育をはじめとする全ての教育活動を通じた心の耕しが必要。

(道徳科の授業は道徳教育の要として位置付けられており、その充実が求められる。) ★『柱』の1つ

※「2 「生きる力」をはぐくむ」>(3)「豊かな心」をはぐくむ

たくましく

・自己の心身の健康を管理出来る(=自分を大切に出来る)

・運動すること(体を動かすこと)の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したり

出来る

※「2 「生きる力」をはぐくむ」>(4)「健やかな体」をはぐくむ

確かな学力

※「2 「生きる力」をはぐくむ」>(2)「確かな学力」をはぐくむ

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、児童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮すること。(学習指導要領総則第3章第1節2(1)確かな学力 より)

→ 学力調査の結果や学校における子供の姿により、自己肯定感が高いと教育効果が高まることが明らかになってきた。学校での学びを確かなものにするためには、日々の学習活動において、実生活との関連も含めて、子供が学ぶことの意義や楽しさを実感できることが重要である。

① めざす学校像

1 子供たちの能力を伸ばし、自信を持たせる学校

- ・「確かな学力」をつける。
※子供が学ぶことの意義や楽しさを実感できる = 授業の中で知的欲求に応える
- ・人間関係構築力(思いやり・折り合い等)、善悪の判断力、基本的生活習慣

2 厳しさと温もりのある楽しい学校

- ・大前提が「愛情」の厳しさ ※「怒る」と「叱る」の違い
- ・笑顔が目につく。(自然と笑顔になれる・笑顔が変わる)
- ・安心・安全に過ごせる。(心理的・物理的の両面)
- ・個性が認められる。(あらゆる他者は価値のある存在)
- ・挨拶を大切に出来る。「おはよう」「さようなら」「ありがとう」「ごめんなさい」等々。

3 保護者、地域と目標を共有し、ともに歩む開かれた学校 = チーム上甲小 2026

- ・家庭・地域と一緒に教育を創造し、個と集団の成長を共に実感することが出来る。
(保護者、学校運営協議会、地域自治会、青愛協、社会福祉協議会、SC21、民生委員・児童委員 等々)
- ・子供の健やかな育ちと成長のために、他校種・関係機関と良い関係性を築き、連携・協力する。
(幼稚園、保育園、認定こども園、中学校、高校、大学、育成センター、SC、SSW、教育委員会、子供家庭支援課、こども家庭センター 等々) ★今年度、学校運営協議会の在り方を積極的に検討していきます。
※「R7西宮教育推進の方向」>「I 学校教育推進の目標」(P26)【別紙】より
- ・保護者、地域への積極的な発信(学校だより、学年だより、ホームページ 等々)

② めざす子供像(子供とともに、私たち大人も…)

か 考え、正しく判断する子 **み** みんなと仲良くする子 **こ** 根気強く取り組む子 **う** 運動好きな子

考え、正しく判断する子

- ・「在りたい自分」「なりたい姿」を見つめられる子(= 自分なりの目標を持てる子) ※途中変更 OK
- ・自身の課題面(今後の成長)について
→ 捉えられる子
→ 克服、更なる成長に向けて、「自分がすべきこと」を考えられる子
→ 克服、更なる成長に向けて、自主的・主体的に取り組んでいく子
- ・自らの言葉・行動について、「正しさ」を常に捉え、求め続ける子
- ・本当に困った時に助けを求め、自分の思い・願いを言葉にして伝えられる子

みんなと仲良くする子

- ・「あらゆる他者を価値ある存在として尊重する」ことが出来る子
- ・好ましい人間関係の構築に向けて、よりよい言動(言葉・行動)を考えられる子
- ・自らの思いを伝え、相手の思いを聴く中で、「納得解」を生み出そうとする子
- ・「協調」「協力」「協働」することが出来る子

根気強く取り組む子

- ・学ぶ楽しさを感じ、自らの成長に対して期待を持てる子
- ・「結果」のみならず、「過程」を大切に出来る子(= 自分なりの精一杯を心地よく思える子)
- ・自分の可能性を信じられる子(= 自信を持つことが出来る子)

運動好きな子

- ・自己の心身の健康を管理出来る(=自分を大切に出来る)子
- ・運動すること(体を動かすこと)の楽しさや喜びを味わったり、健康の大切さを実感したり出来る子

③ めざす教職員像

全教職員でこのような心・認識・行動を本気で目指したいです。

1 “子供とともに学ぶ”謙虚さを持ち、子供を笑顔で迎える教職員

★まず、教師が子供を人間として尊敬する。(基本的尊敬) **努力目標** 「～さん」の会話

★まず、教師が子供の強さを信頼する。(子供自らの内在する力を信頼する。)

子供は

『社会の宝』

私たちの成し得なかったことを成し遂げていく世代

私たちの時代には解決出来なかった課題の解決に向かう世代

・子供の可能性を信じる教職員(今及び将来。どのタイミングでも)

※ピグマリオン効果(教師期待効果)

・見えない(見えにくい)面を捉えようと努める教職員(心・環境・背景)

※目の前の子供・家庭は“困る子・困る家庭”ではなく“困っている子・困っている家庭”

→ 教職員が一人で抱え込んでしまうことなく、チーム上甲小として、どのような支援が出来るのかを考えて協働していく。

「自分が・自分たちが出来得る支援は何か？」

「何をすることがその子の将来の可能性を広げるのか？」

・子供を勇気づける教職員

※言葉かけ・対応によって、子供自ら一歩前へ。そのサポート・アシスト。

※失敗を許さないのではなく、失敗を乗り越える支援を。(子供は学びの道の過程)

→ 失敗・トラブルからプラスの道へ

・『成長』し続けようとする教職員。(「人」として、「教職員」として)

※時には停滞、時には反省。そこからのリスタートでOK！

・「人」として(価値を)認め合い、専門職として高め合う教職員。(言い合い、ではなく言い合える関係性)

・同僚性を大切にし、“チーム”で動くことの出来る教職員

※「3C」… Cooperation(協力)、Collaboration(協働)、Cover(カバー)

※「報・連・相」… 報告・連絡・**具体的相談**

(子供のために、保護者のために、自分のために、どんな言葉どんな展開がベターと考えますか？)

2 授業改善等、自身の資質向上に努め、研究と実践を深め合う教職員

・前例踏襲にとらわれず、柔軟な発想で考えることが出来る教職員。

・得意分野の更なる向上と苦手分野の段階的な克服に努めようとする教職員。

・自身の**キャリアステージ**を踏まえ、新しい業務にもチャレンジしようとする教職員。

3 子供・保護者・地域社会から信頼される教職員

・子供を多角的に「みる」(見る・観る・診る・看る・視る)ことの出来る教職員。

・教育界の動きと目の前の子供の現状を捉え、「**共通認識**」「**共通行動**」を提案出来る教職員。

・様々な「立場」「意見」「思い」を捉え、「**納得解**」を生み出そうとする教職員。→ 真の「**同僚性**」

・校舎・教室・廊下の清掃、机・ロッカーの整理整頓、物の管理(誰もが気持ちよく、使いやすく)